

「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 1)

分野	1 子ども	まちづくりの目標	子どもたちの笑い声があふれるまち	
		まちづくりの方向性	～健やかに育つ・育てる環境づくり～	

事業名	学校規模の適正化の検討事業		担当部・課	教育部 学校教育課
-----	---------------	--	-------	--------------

施策体系	施策の柱	(第2節) 未来を担う子どもを育むための学習環境の充実		
	施策名	3 安全・安心で快適な教育環境づくり		

事業の概要	取組の背景	本市における児童生徒数の減少が見込まれていることや、学校施設の老朽化が進んでいることから、市内全ての児童生徒が等しく質の高い教育を受けられる環境及び施設の安全性の確保が求められている。					
	趣旨・目的	児童生徒数の減少や教育の質の向上、学習環境の整備等進めるため、学校規模の適正化に関する基本的な考え方や望ましい学校の配置、通学区域等に関する検討を行う。					
	実施概要	・塩竈市立学校規模適正化等検討委員会の設置 ・児童生徒へのヒアリングの実施 ・パブリックコメントの実施	事業費	(千円) 247			
	令和6年度の取組方針・目標値	塩竈市立学校規模適正化等検討委員会から、学校規模の適正化に関する基本的な考え方や望ましい学校の配置、通学区域等に関する内容を含んだ「学校規模の適正化等に関する方針（案）」の答申を受け、年度内の策定を目標とする。					
	これまでの取組状況	塩竈市立学校規模適正化等検討委員会からの答申及びパブリックコメントの意見等を踏まえ、今後の議論のための「たたき台」としての「学校規模の適正化等に関する方針（案）」を令和7年3月に策定した。					
課題	「具体的な方針案」の作成を速やかに進める必要がある。また、学校規模適正化の検討を進めるにあたっては、児童生徒や保護者、教職員、地域の方々等へ丁寧に説明し、意見を聴きながら進める必要がある。						
令和7年度以降の展開の方向性（改善方法）	令和7年 6月～ 関係機関等との意見交換 令和7年12月 具体的な方針の取りまとめ 令和9年 3月 方針の策定						
関連する成果指標	—		SDGs	4.質の高い教育をみんなに			
未来創生プロジェクト	2.よろこび実感プロジェクト	横連携・好循環が期待される施策等	—				
関連する「塩竈らしい100の暮らし」	—						

「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 2)

分野	2 福祉	まちづくりの目標	みんなが生き生きしているまち
		まちづくりの方向性	～ 健康で安心して暮らせる地域づくり～

事業名	塩竈市立病院外来棟リニューアル事業		担当部・課	市立病院事務部 業務課
-----	--------------------------	--	-------	----------------

施策体系	施策の柱	(第3節) 安心できる地域医療体制の充実		
	施策名	3	市立病院を中心とした地域医療体制の充実	

事業の概要	取組の背景	市立病院の施設は古いもので60年以上経過しており老朽化が著しく、建て替えの時期が来ている。一方、物価高騰等による建設費用の上昇が未だ収束しないため、建て替えは非常に困難であるが、安全・安心な医療の提供と快適な療養環境の整備が求められている。					
	趣旨・目的	老朽化施設でも、来院される患者様やご家族様に、待ち時間等を快適に過ごして頂ける方策の一つとして、外来待合室等などのリニューアルに取り組んだもの。					
	実施概要	リニューアル箇所 ①外来棟1階 待合室等 ②外来棟2階 来院者休憩室 ③外来棟2階 小児科待合室 ④外来棟 2階ブレイルーム ⑤外来棟1階 デジタルサイネージ設置	事業費 (千円) 22,000				
	令和6年度の取組方針・目標値	外来棟リニューアル事業の年度内完了					
	これまでの取組状況	令和6年4月～9月：病棟の老朽化対策事業との一体実施について検討結果として外来棟リニューアル事業の単独実施を決定 令和6年12月：公募型プロポーザル方式による業者選定を実施 令和7年1月～3月：事業を実施し完了に至る					
課題	病院施設の全体の老朽化は進んでいる中、持続可能な病院経営、安全・安心な医療提供体制の構築に向けて、引き続き施設の老朽化対策を行う必要がある。						
令和7年度以降の展開の方向性(改善方法)	入院病棟施設部分の改修工事に向けた設計業務を委託し、病院機能の維持を図る改修工事を進める。						
関連する成果指標	—		SDGs 	3.すべての人に健康と福祉を			
未来創生プロジェクト	1.住みよさ実感プロジェクト	横連携・好循環が期待される施策等	—				
関連する「塩竈らしい100の暮らし」	—						

「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 3)

分野	3	生 活	まちづくりの目標	快適に住み続けられるまち
			まちづくりの方向性	～ 安全で安心なコンパクトさを生かした住環境づくり～

事 業 名	緑 と 憩 い 再 生 事 業	担当部・課	産業建設部 土木課
-------	-----------------	-------	--------------

施策体系	施 策 の 柱	(第 2 節)	コンパクトで生活サービスが充実した「住んでいたい・住んでみたい まち」の形成
	施 策 名	2	気軽に集える憩いの空間の創出

事業の概要	取組の背景	開園から30年以上経過した伊保石公園は、施設の老朽化などにより利用者が減少しており、十分に活用されているとは言い難い状況である。					
	趣旨・目的	本市唯一の総合公園を市民の憩いの場として活用されるような再整備を行う。また、その他の公園についても、未来ある子どもたちの植樹体験等を通して地域愛の醸成を図る。					
	実施概要	①伊保石公園再整備（伊保石公園再整備事業） ②子どもたちによる各公園への植樹（街区公園植樹事業）	事業費	(千円) 5,050			
	令和7年度の取組方針・目標値	【伊保石公園再整備事業】 令和6年度に伊保石公園設置管理事業者として、アスレチック施設を設置・管理・運営していく事業者が決定したため、8月1日オープン時期に合わせ、駐車場整備等の基盤整備を実施していく。 【街区公園植樹事業】 昨年実施した4校に1校追加して実施していく。					
	これまでの取組状況	【伊保石公園再整備事業】 ○伊保石公園再整備基本構想 令和3年度策定 ○伊保石公園再整備基本計画 令和4、5年度策定 ○伊保石公園再整備事業者選定委員会の開催→事業者決定→基本協定締結 令和6年度 【街区公園植樹事業】 ○令和3年度 第三小学校（中の島公園）実施 ○令和4年度 第三小学校、杉の入小学校（楢町北公園）実施 ○令和5年度 第三小学校、杉の入小学校、月見ヶ丘小学校（清水沢公園）実施 ○令和6年度 第三小学校、杉の入小学校、月見ヶ丘小学校、第一小学校（東玉川公園）実施					
課題	【伊保石公園再整備事業】 アスレチック施設オープンに伴い、集客率増加を目指し、また、今後の再整備に関し、関係機関と協議を行なながら取り組んでいく。 【街区公園植樹事業】 実施校を毎年1校ずつ増やしているため、担当職員の負担増加が予想される。 そのため、より効率的かつ効果的な実施手法が求められる。						
令和7年度以降の展開の方向性（改善方法）	【伊保石公園再整備事業】 伊保石公園再整備基本計画に基づき、公園内使用禁止遊具の更新や集客率増加に合わせ、新たな公園施設の検討等、伊保石公園の再整備を行っていく。 【街区公園植樹事業】 毎年1校ずつ増やしていく、令和9年度に7校（市内全ての小学校）実施するまで継続していく。						
関連する成果指標	—		SDG s	15.陸の豊かさも守ろう			
未来創生プロジェクト	4.にぎわい実感プロジェクト	横連携・好循環が期待される施策等	—				
関連する「塩竈らしい100の暮らし」		分野 5	地域に花を植えて交流する暮らし				

「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 4)

分野	5 交 流	まちづくりの目標	何度でも訪れたいまち
		まちづくりの方向性	～観光交流による賑わいづくり～

事業名	ふるさと納税事業	担当部・課	総務部 秘書広報課
-----	----------	-------	--------------

施策体系	施策の柱	(第2節) 塩竈ブランドの確立とおもてなし体制の充実・広域連携による交流人口の拡大	
	施策名	1 塩竈ブランドの確立	

事業の概要	取組の背景	平成30年8月からふるさと納税事務の業務委託を実施し、寄附者満足度の向上を図るとともに、民間事業者のノウハウを生かして返礼品（地域資源）の発掘・企画を行ってきた。令和6年4月から新たな事業者に委託し、ポータルサイトの充実などのPRに関する取組を強化した。					
	趣旨・目的	自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができるふるさと納税制度による寄附を促進するため、本市のPRを兼ねた返礼品を送付する。「海と社に育まれる楽しい塩竈」の実現を目指す施策の財源として寄附金を効果的に活用する。					
	実施概要	適切な寄附の受付と寄附情報等の管理、返礼品の充実、返礼品等の発注・配送管理、寄附金受領証明書等の発送、寄附者への対応などの事務の一部を委託している中間事業者とともに市のふるさと納税充実を図る。	事業費	(千円) 564,706			
	令和6年度の取組方針・目標値	ポータルサイトのブラッシュアップや返礼品の新規開拓、プロモーションの充実により前年度比約2倍となる寄付額10億円を目指す。					
	これまでの取組状況	ポータルサイトのブラッシュアップにより市のプロモーション及び返礼品の魅力発信を効果的に行つたほか、低価格帯の返礼品の開拓や適切な広告宣伝により、前年度と比較し、寄附件数は約2.8倍、寄附金額は約2.1倍となった。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> 鮭等の低価格返礼品への寄附が多かったため、寄附単価が低下し寄付額に占める経費割合が高くなっている。 寄付額上位自治体に比べ返礼品数が少なく、バリエーションを充実させる必要がある。 						
令和7年度以降の展開の方向性(改善方法)	<ol style="list-style-type: none"> (1) 返礼品数の増加 <ul style="list-style-type: none"> 年度内に200品以上返礼品数を増やすことで県内上位自治体の並ぶラインナップにする。 鮭、蟹の寄付割合が非常に多いため、次の柱となる返礼品を開発する。 (2) プロモーションの充実 <ul style="list-style-type: none"> 広告の費用対効果を分析し、より効果的な広告を実施する。 各種イベントでふるさと納税のPRを行い、塩竈ファンを増やす。 (3) 現地決済型ふるさと納税の導入 						
関連する成果指標	ふるさと納税による寄附者数		SDGs	—			
未来創生プロジェクト	3.やりがい実感プロジェクト	横連携・好循環が期待される施策等	—				
関連する「塩竈らしい100の暮らし」			分野5	地域の魅力を撮影して発信する暮らし			

「第6次塩竈市長期総合計画」主要事業の実施概要

(NO. 5)

分野	8 浦戸諸島	まちづくりの目標	自然と調和した 和やかな暮らしと癒しがあるしま
		まちづくりの方向性	～人々が住まい・集える持続可能な島づくり～

事業名	浦戸再生プロジェクト推進事業		担当部・課	市民生活部 浦戸振興課
-----	----------------	--	-------	----------------

施策体系	施策の柱	(第2節) 浦戸ならではの自然や歴史・文化を生かした交流の推進		
	施策名	1 個性ある地域資源をつなぎ合わせた交流活動の推進		

事業の概要	取組の背景	浦戸諸島においては、人口減少や高齢化などにより島内の地域活動の担い手不足や既存コミュニティの維持が難くなっている状況にある。					
	趣旨・目的	持続可能な島づくりに向け、まずは、市民が浦戸に行く機会を設けるなど、今ある浦戸の資源を活用し「交流」をキーワードに浦戸に来てもらう取組を進める。					
	実施概要	着手できる事業から積極的に取り組む体制を整え、スケジュール感をもって様々な手法を検討・活用しながら課題解決を目指す。		事業費 (千円) 46,406			
	令和6年度の取組方針・目標値	取組方針①浦戸への交流人口の拡大②HP、SNSを活用した情報発信の強化 目標値 市営汽船乗船客数（観光客数）の前年度10%UP（R5:36,000人⇒R6:39,600人）					
	これまでの取組状況	令和4年度 地域おこし協力隊の募集、浦戸諸島魅力発信事業（HPリニューアル） 令和5年度 ①情報発信（HP・SNS）・地域おこし協力隊の任用②朴島浮桟橋整備事業 ③防災集団移転跡地の利活用（芝生化）④浦戸観光客用中駐車場トライアル事業 ⑤校外学習支援事業 令和6年度 ①情報発信（HP・SNS）・地域おこし協力隊の任用②朴島浮桟橋整備事業 ③防災集団移転跡地の利活用（芝生化）④校外学習支援事業 ⑤買い物支援事業					
課題	浦戸諸島は、人口減少や高齢化などの厳しい状況に直面しており、地域活動を支える担い手が不足している。また、浦戸諸島自体の認知度が低い。						
令和7年度以降の展開の方向性（改善方法）	・HP、SNSを活用して、効果的な情報発信、PRを引き続き実施していく。 ・浦戸諸島への興味を広めることで交流人口の拡大や新たな関係人口の創出に繋げる事業を引き続き実施していく。 ・次のステップとして、島の生業に繋がる事業を展開する必要がある。						
関連する成果指標	市営汽船乗船客数		SDGs	－			
未来創生プロジェクト	3.やりがい実感プロジェクト	横連携・好循環が期待される施策等	観光プロモーション事業				
関連する「塩竈らしい100の暮らし」	 分野 8		浦戸で休日を過ごす暮らし				